

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。〔7番 渡辺栄一君登壇〕

○7番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。

これからも糸魚川市内での暮らしやすさ、住みやすさを思い描きながら、市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し活動することで、当市の翠の交流都市、爽やか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。よろしく願いいたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、観光産業への活性化策について。

当市はユネスコ世界ジオパークに認定されており、ジオパークやヒスイ海岸といった観光資源が豊富とされている。さらに当市へ誘客させる方策について伺います。

- (1) 新型コロナウイルスの5類への移行後、当市を訪れる観光客の動向はどのような状況にあり、また、どのように分析しているか。
- (2) 鉄道の各路線及び大糸線増便バス等の利用状況について、市の評価を伺います。
- (3) 来年4月13日から10月13日まで開催の大阪・関西万博について、ヒスイ原石を展示するとのことだが、効果的な展示方法の工夫をどのように考えているか。
- (4) 市内スキー場に対して、通年での利用促進策を進めていくには、どのような考えがあるか。
- (5) 高浪の池の利用者の動向について、今後の見通しをどのように捉えているか。
- (6) ジオエリアでもある月不見の池は、現状のままでよいと考えているか。
- (7) マリンドリーム能生等を含む道の駅エリアの展望について、どのように考えているか。

2、農業を取り巻く環境について。

糸魚川市の自然環境を生かした、農業のブランド化が進む可能性があり、地元産品を高付加価値化し、都市部への販路を拡大する取組が必要と思われる。しかし、一方では、耕作条件の悪い農地では、新たな担い手が見つからない場合や耕作者の高齢化が顕著となっている。市の考えを伺います。

- (1) 糸魚川産のお米について、味や品質をどのように捉えているか。
- (2) 後継者不足や効率化の課題解決に寄与するとされるスマート農業の導入についての課題は何か。
- (3) 販路を拡大させるための方策は、どのようなルートを考えているか。
- (4) 用水管理や畦畔の草刈りの負担軽減策を考えているか。
- (5) 農業所得を上げるにはどのようなことが有効と考えられるか。

3、当市の諸課題について。

- (1) (仮称)「駅北子育て支援複合施設」の建設予定地にある旧東北電力ビルの解体工事は、4回目の入札結果も不調とのことであったが、今後の展開をどのように行うのか。
- (2) 糸魚川総合病院に対して、今後どのような支援を行っていくのか。
- (3) 人口減少と高齢化が課題となっているが、当市の人口減少対策プロジェクトとしては、どのような提言を考えているのか。
- (4) 市内には、高等学校卒業後の進路として、専門学校等の設立が切望されるが、見通しはいかがか。
- (5) 今冬は、降雪量が多いとの予報であるが、消雪パイプの不具合は解消されていると判断してよいか。
- (6) 今後、政府も物価高騰や光熱費等を緩和させる政策を行う予定のようだが、市としての考えはあるか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長(保坂 悟君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長(米田 徹君)

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目と2点目につきましては、観光客や鉄道利用者は増加しており、人の流れはコロナ禍前の状況に戻りつつあると感じております。

また、大糸線増便バスの利用者は、6月から10月までで9,410人でありました。

3点目につきましては、県や万博協会、展示業者と連携しながら、ヒスイの価値や魅力が伝わる展示を検討してまいります。

4点目につきましては、グリーンシーズンの集客が課題となっており、ゲレンデ等の活用について、指定管理者と協議してまいります。

5点目につきましては、指定管理者において、新たなアクティビティの導入や様々なイベントを実施するなど、大人から子供まで楽しめるよう取り組まれており、今後も多くの利用者が見込める施設であると考えております。

6点目につきましては、地元の皆様に必要な管理をお願いしながら、景観の維持に努めてまいります。

7点目につきましては、多くの観光客が訪れる主要な施設であり、維持管理や整備等を計画的に進めてまいります。

2番目の1点目につきましては、高品質でおいしいお米であると捉えております。

2点目につきましては、圃場等の基盤整備が課題であると捉えております。

3点目につきましては、需要が生産量を上回る状況であることから、当面は、収量の確保を重点に推進してまいります。

4点目につきましては、農業生産基盤整備やスマート農業の導入による省力化と併せ、非農業者等の参画による体制強化を促進してまいります。

5点目につきましては、農産物の高付加価値化と併せて、基盤整備やスマート農業などの導入に

よる、生産コストの縮減が有効と考えております。

3番目の1点目につきましては、現在、検討中であります。

2点目につきましては、医療従事者の離職を防ぎ、安定した医療体制の確保を図るため、緊急的に支援を行いたいものであります。

3点目につきましては、現在取り組んでいる事業の分析や先進事例の調査などを行い、新年度の事業展開に向けて検討を進めております。

4点目につきましては、看護師養成所等の設立に向け、検討しておりますが、現実には難しい状況であります。

5点目につきましては、冬期前点検を実施し、不具合箇所を修繕しております。

また、不具合が生じた場合は、速やかに対応してまいります。

6点目につきましては、国の情報を注視し、必要な事業に取り組んでまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

順番どおりでさせていただきます。お願いします。

2回目の質問をさせていただきます。

（1）でございます。糸魚川市の令和5年度版の観光統計によりますと、令和5年度の観光客の入り込み状況は、総数が190万9,550人、対前年比で109.3%、16万2,890人増で、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き始め、5月の8日から感染症法上の位置づけが5類感染症となり、各地でイベントが再開するなど観光需要が回復し、新型コロナウイルス感染症拡大前、令和5年度総数で217万7,480人ということで、約88%まで回復したとありますけれども、これは事実で間違いはないということよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほど議員のおっしゃるように、観光統計のほうにはそのような記載もありますし、今現在、令和6年度11月末現在の市内主要観光施設の入り込み状況のほうの結果によりますと、令和元年度比、コロナ禍前に比べまして87.6%という数字が今出ております。ですから、今ほどおっしゃったような数字は、間違いのないものだというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

続きまして、目的別観光入込み乗客数では、産業観光7地点で44.4%、文化施設10地点で25.2%、温泉13地点で6.6%ですけれども、当年度から、要は令和5年度からお祭りであるとかイベントの41地点で8.4%と、今まで縮小で開催していたイベントを制限なしで開催できたということもあって、令和4年度の9万人から16万1,000人に回復してきたというふうに書いてございます。先ほど言ったとおり、令和元年度総数から、まだ26万7,930人少ない状況ではございますけれども、この令和6年度の見込みと、この手応えについて、どのように受け止めておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先ほども11月末現在の数字のほうをお答えいたしました。やはりあの数字を見る限り、今年度は、昨年よりも観光客の数は増えるとは思っております。

しかしながら、コロナ禍前までに戻るかといいますと、まだまだ難しい面もあるんじゃないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

課長にお伺いしますけれども、今後どこをターゲットに伸ばそうと思っておられるのか、また、その理由を教えてくださいたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

昨年来から、やはり来年開催されます大阪・関西万博に来られるインバウンドの方、また、国内の方も含めて、北陸新幹線を活用して、糸魚川市に来ていただけるような施策のほうを打っていきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

最近メディア等で、糸魚川に関連した番組というものが放送されておると思うんですけども、何か市として働きかけというものはされておるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

糸魚川市で行います各種イベント等は、やはりマスコミに対しては、プレスリリースのほうをさせていただいております。今現在、今、議員おっしゃるように、テレビの露出が増えたというのは、今までの糸魚川市の取組が、功を生んだかなというふうに思っておりますが、やはりスキーシーズン等なりますと、近隣のテレビ局等もお邪魔して、PRのほうもさせていただいております。今後引き続き、そういったマスコミ等と一緒にPRを図っていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

糸魚川市全体からして、やっぱり伸び代ってのはまだまだあると思っておりますし、市内で消費してもらえる機会は転がっているかと思しますので、一緒になってお知恵を出していただいと、そのように思っております。

それでは、2番目でございます。

どの路線もお客様が糸魚川市を訪れるための大切な交通インフラだと思っておりますけれども、特に、やはり大糸線については、ご利用される方の動向というものを私、心配しておるところであります。6月の1日から来年の3月末まで、大糸線の増便バスを運行して、潜在需要を可視化するため、北陸新幹線と接続する糸魚川から白馬まで、1日4往復8便を運行しておりますけれども、私も一般質問をする以上は、今月の7日土曜日11時55分に乗ってみました。6月のときも乗ってみたんですけども、今回は、そのときとは違っておまして、私も含めて22名ぐらい乗車しておまして、半分以上が外国人の方でした。南小谷駅までの間で2名乗車して、11名が降車したと。3名の方が八方バスターミナルで降車されて、後は10名ほど終点白馬まで行ったというところなんです。帰りは、たしか13時40分発だったと思うんですけども、白馬から、私も含めて13名乗って、南小谷で17名が乗りまして、北小谷で2名降車して、3人乗車したと。合計31名が、終点糸魚川まで来たというところでございます。

運転士さんに確認しましたところ、曜日や時間帯にむらというものがあるけれども、お客さんは増えている傾向にあり、特に外国人の方が多いというようなことでした。

そこで、一応私も、新聞報道では3万人という目標数値というものが、どういう過程で数字が出されたのかということを少しお聞きしたいんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

過去に、コロナの前でしたけども増便バスを1回やったことがございます。これ、コロナ禍入ってしまって利用は少ない状況だったんですけども、そういったときの乗車人数ですとか、あと大糸

線の利用の人数等も踏まえながら、目標はちょっと高めですけども設定をさせていただいたところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

先ほど市長答弁で、6月の1日から10月の31日まで9,410人ということで、大体目標の3割弱というような回答であったと思いますけれども、この数字、達成されるのか、あるいは達成されない場合はどうなるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

私ども目標の3割ということで、少し目標よりは少ない数字かなというふうには認識しておりますけれども、本格的なウインターシーズンに期待をしているところでありますし、幸いにして、今年、雪も早い状況ということ、それから白馬の状況を聞きますと、12月から3月中旬ぐらいまでは宿泊はいっぱいだというようなことも、白馬の職員からお聞きしております。こういったところに非常に期待を持っているところでありますし、高い目標設定はしましたけれども、できるだけその目標に近づくような形で取組を進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、ちょっと同じような質問なってしまいますけれども、関東地方で今のところ36%、新潟で20%、あと長野・関西地方、それぞれ13%ぐらいだというような新聞報道がありまして、敦賀の延伸による関西からの来訪を見込んでおるんですけども、結果に結びついていないということについてどう思ってるかということなんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えします。

これまでのグリーンシーズンの分析でいきますと、新幹線の、私どもの乗降調査による調査でいきますと、糸魚川駅の部分に関しましては2.4%の増ということで、確実に増えているところがございます。そういったところを大糸線、白馬エリア等につなげていくといったところでの増便バスというところで、着実に私ども今、増便バスの乗降調査と併せて鉄道のほうの乗降調査もさせていただいておりますけれども、前年よりは着実に伸びているところをJRのほうからも聞いております。そういったところもありますので、取組をした効果というのは出ているかと思っております。

ます。

ただ、ウインターシーズン、本格的なウインターシーズンというのはこれからになりますので、もともと白馬エリア、グリーンシーズンも頑張っておりますけれども、やはり本格的なシーズンはやっぱりウインターシーズンということになりますので、ここをターゲットに、インバウンドの方も含めて乗っていただければというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

昨年、私も、湯めぐり手形すたんぷらりいというのを、私、去年やったんですけど、今年はこの企画というのはいもうやらないんでしょうか。私もやっぱり利用して、少しでも応援したいなど思っておりますけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

ご利用いただき、ありがとうございます。今年度も、今実施すべく準備をしておりますので、ぜひ今年度も、お風呂を巡っていただければというふうに考えております。よろしくお願ひします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、やはり廃止されては、やっぱり糸魚川へ来る機会というのは減ってしまうことになりまして、やっぱり次々と施策というものを考えていかなきゃならないと思っております。市の職員の方や、またそのご家族の方も含めて、大糸線のご利用をお願いいたします。

それでは、3番目でございます。

糸魚川産のヒスイの原石を会期の初日から最終日までの6か月間、会場内の静けさの森と迎賓館に展示するとあります。静けさの森では2個、4.8トンと2.1トン、奇跡の石を幻想的にイメージする演出とはどのようなものなのか、展示する原石は3個なのか、そこら辺を確認したいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

静けさの森に展示されますヒスイ原石につきましては、2石でございます。その展示の方法につきましては、今現在、新潟県と一緒に協議のほうを進めておりますが、県が今、その展示方法のプロポーザルのほうを行います。その結果が実施計画という形になりますので、その計画に基づいて、

展示のほうはしてまいりたいというふうに思っております。当市としましては、やはりヒスイをせっかく飾っていただきますので、その希少性だとか歴史だとか、糸魚川市の文化的なものとかが、広く発信できるような形で携わっていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

3個ではなく2個だということによろしいんですね。

展示予定のこのヒスイの原石というのは、糸魚川市の所有のものなんですか、それとも、また、どこで発見されたものなのか、伝えるものなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

静けさの森に展示されますヒスイ原石につきましては、市のものではございません。今回、県石ということで新潟県のほうが手配をして、そちらのほうの設置に至ったものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうすると今のところ、どこで発見されたかということも分からないということで、そういうことによろしいんでしょうか。万博では、国内外から約2,820万人の来場が想定されているということなんですけども、この糸魚川市としては、何かガイド役というんでしょうか、そういったものを立てる予定はあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

静けさの森に展示されるヒスイの箇所につきましては、常時、そちらのほうに人を立てるという予定はございません。

ただ、そのヒスイにつきまして、当市産というところが分かるような仕掛けを県と一緒に考えていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうすると会期中、あるいは、またはその何ていうんですかね、万博が終わった後、当市へ、より多くの観光客の方が来てもらえるような戦略を打っていると、考えているということによろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今回の万博では、静けさの森へヒスイの展示、また、新潟県と一緒に、6月、7月に展示ブースのほうを糸魚川市として出展させていただきます。そのような中で、やはり当市のPRビデオとか、またパンフレット等、そういったものも配布も予定しておりますし、また、新たなPR手法も県と一緒に考えていきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

開催日まで、あと4か月後に迫っております。成功裏に、当市への観光に利するものになってもらいたいと思っております。

それでは、4番目に参ります。

ここ数年、やっぱり雪不足で営業日数が少なくなっている傾向にあります。先ほど市長答弁でも、たしかゲレンデ等で何かやりたいというような、そんなような答弁だったように思いましたけれども、何か夏スキーとか、そういったものが、最初できればいいななんて思ってたんですけども、設備投資にかなりお金がかかるので、困難かななんて思ってたんですけども、そこら辺はどうなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

先ほど市長答弁もありますように、様々なイベントを指定管理者のほうでは考えております。今までもバイクのイベント等もやっていただいておりますし、また、アウトドアのほうも今、昨今、人気でございますので、そういったものも絡めながらイベント等をしていきたいというふうに声を聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

シャルマン火打スキー場について、お答えいたします。

こちらのスキー場は、夏の間はグリーンメッセ能生に職員が営業活動しておりますので、そちらのほうに従業員がおるということで、シャルマン火打スキー場の夏場の利用については現在考えているものではございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

当初、私もモトクロスが、去年6月の3日、4日にちょっと見させていただいて、若い家族連れの方が多かったなということで、かなり人が集まっていたということは記憶がございます。ですから、年に数回できたらいいななんて思っておったんですけども、そういったことも考えているということで、分かりました。

あと糸魚川市ですね、スキー場管理活用等調査業務委託報告というものをどのように分析をして、あとどうしていかなきゃいけないかということなんですけども、これについてはあんまり、かなりいろいろ委員会でも資料なんか見させていただいたんですけども、なかなか分かりにくくて、非常にどちらかというとあんまりちょっと、あんまりよろしくないことが書かれていて、非常にどっから始めたらいいいのかというような、そんなような感じの内容で非常に分かりにくかったんですけども、そこら辺はどう分析をされてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

一昨年行いましたあり方検討の調査結果につきましては、定量的効果、定性的効果ということで、失礼いたしました、評価ということで、いただいております。今ほど議員おっしゃるように、コメント欄としましては、なかなか辛辣な意見もあったというふうに思っております。その意見を持ちまして、やはり私らは、庁内で検討会のほうをさせていただいております。今、どのような形で今後スキー場していくかというのを検討している状況でございます。やはり庁内の検討内容、今現在の検討内容なんですけど、やはり市として、誰のために、何のためにスキー場があるべきなのか、また、今現在のスキー場の立ち位置というものをしっかり確認している状況でございます。令和7年度中に、指定管理者の期限が切れますので、それまでには、やはりある程度の方向性を出していきたいなというふうに思っております。

しかし、次の方向性が出たときに、様々な事務手続等もあると思います。そのような場合は、やはりある程度の期間を持っていただきながら、スキー場の存続は考えていきたいなというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうですね、やっぱりそこで雇用の問題もございますので、私は一概には全て何でもというのはあまり賛成はできませんので、何とか、何ていうんでしょうか、利益が出るというんでしょうかね、お客さんが来てもらえるような方法でやっぱり考えていってもらいたいと、そのように思っております。

それでは、5番の高浪の池に関してであります。

メインがキャンプ場だと思っておるんですけども、感染症拡大が落ち着きを見せ始めるにつれて、かつてほどの需要がなくなってきたと思われるんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

議員ご指摘のとおり、コロナ禍につきましてはキャンプ場等のアウトドアにつきましては、需要のほうが増分上がった状況だったと思います。

高浪のキャンプ場につきましても、実態としましては、コロナ禍からは多くの方がご利用いただいておりますが、今年度は、昨年に比べると落ち込んでいるというのが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

今年の6月の1日ですかね、第3回の高浪の祭りがありましたですし、野外コンサートもやられて、少しはにぎわったかなというふうに思うんですけども、ちょっと変な質問、変な質問というわけじゃないんですけども、あそこの池で釣りができないものなのかなとか、そう思ったりもするんですけども、例えばツチノコで、捕獲すると1億円というのがありまして、そこで、浪太郎でも釣れたら、何か少しお金出すよみたいな、そういったような話題性も必要じゃないかというふうに思っておりますけど、そこら辺はあまり真剣に考えていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今現在、高浪の池の指定管理者であります株式会社たかなみのほうは、やはりアクティビティの多様化ということで様々なものを考えております。その中で、釣りというお言葉も、昨年来いただいたこともありますので、やはりそうは言いますが、池を見に来る観光客もおられますので、安全対策等も考慮する必要もあると思いますということで、今現在、調査検討している段階かなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ぜひ前向きに、やってみるのも面白いかなと思っておりますので、何でも駄目というとなかなか進まないもんですから、ちょうど面白いんじゃないかなと私は思っております。

6番目でございます。

ここは早川地域の地滑り地帯だというふうに理解をしてるんですけども、やっぱりこのメインというのは、やっぱりこの月不見の池だと思っております。池の周りを、何年前かがちょっと分かりませんが、シートで修繕していただいていたということで、それは何年ぐらい前で、幾らかかったのかというのはちょっと、なかなか人に聞いても分かんなくて、それをちょっと教えていただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

糸魚川市の観光地として、月不見の池を活用するということは、私の今の手持ちの資料でいいますと、昭和40年ぐらいからされてるのではないかなと思っています。そのときは、やはりトイレ等、いろいろ整備をした中で、昭和50年代に、やはり漏水をするということで調査、また対策等を昭和の時代に行いまして、それでも、やはりまだまだ漏水が続くということで、平成の10年、11年、12年にシート張り工をさせていただいております。その工事費の全体は、約6,000万程度かなというふうに思っております。

○議長（保坂 悟君）

ここで、昼食時限のため、午後1時まで休憩とさせていただきます。

〈午前11時58分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員、続けてください。

○7番（渡辺栄一君）

先ほど、池の周囲といいますか周りをシートで囲ったときのお金というのが6,000万円かかったというようなことで、かなり高額だということが分かりました。

ただ、あれから24年から26年ぐらいたっているということもございまして、かなり、もしかしたら当初は、ああではなかったのかもしれませんがけれども、もしかしたら、何ていうんでしょうか、シートが壊れてるとか、そういったことも考えられないのかなというようなことなんですけども、そこら辺はどのように考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

平成11年前後のシート張り工から20年程度がたっても、やはり漏水というのがなかなか収まらない実態がございました。そのような中で、平成30年度、地元や有識者、大学教授や地質学者も入れた月不見の池水位・水質改善検討委員会というのを組織させていただきまして、令和元年まで検討のほうを進めてまいった次第でございます。

その結果は、やはり池の底にありますシートの撤去は、水が全て抜けてしまうことから、リスクが高く、また経費もかかるということで行わないという結論にもなっておりますし、また現在、利用しております井の口用水が、池の中心部から漏れなく注水することで、水位・水質改善に一定の効果が得られているということで、この手法をそのまま最優先するという結論に至っているところが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

なかなか30年も、平成の30年にといいますか、やられたということで、なかなかちょっと今んところちょっと詰まってるような状態だなということで、非常にどうしたらいいもんかなということでございますね。

いずれにしても、何ていうんですかね、きれいなときもあるんですよ。ですから、昨日、一昨日か、金曜日の日に見に行ったときは、非常にきれいな水になってまして、ある日、突然濁ってくるというような、非常に不思議な現象もあって、非常に実際、困ってるなというところであります。

実際、これとは関係ないんですけども、これとは関係ないといいますか、よくあそこにノートが貼ってありまして、かけてあるノートがあるんですけども。そこでは、トイレがきれいだったとか、あるいはこの藤の名所ということで来てみたが、がっかりというようなことも書いてあって、どこが名所というようなほどの藤があるのか、市はもっと管理してくださいと。二度と来たいとは思いません。岩は、すばらしいので、ぜひ名所にしてくださいというようなことも書いてございますし、後は、まるでジブリだ。もののけ姫の世界みたいで、すてきでしたというようなことも書かれておりますので、何とか、やりようによっては、まだまだ何かやり方があるのかなというようなこともございますので、せめて藤の名所ということであれば、藤の手入れ等もしていただけたらなというふうに思っておるんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほど議員おっしゃるように、月不見の池につきましては、藤の名所ということでPRのほうをさせていただいております。近年は、ご指摘のとおり、藤の花が少なくなっただとか、そういったお声も聞きます。やはり私らが想定してるのは、地下水の水脈の流れが変わったのではないかと。それによって、周囲の木や、また、藤の老木化などによって景色が一変してしまったのではないかなというふうに思っております。やはり景色の修復には時間がかかると思いますが、地元の皆様と一緒に相談し、協力しながら、今後、また月不見の池の活用を図れるように進めていきたいなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ご協力のほう、またお願いいたします。相談すると思いますので、お願いいたします。

それでは、7番目のマリンドリームに関してであります。

道の駅でマリンドリーム能生というのは、市内で一番にぎわいを見せていると思われておるんですけども、やはりカニを目当てに来るお客さんが多いと聞いております。この資源の確保というのは、どうされておるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

議員おっしゃられますとおり、カニが有名な場所であります。漁師の皆様にお話を聞きますと、カニのやっぱり漁獲量というのは減っているということから、一定の管理を行いながら漁獲をし、販売しているというふうに聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

マリンドリーム能生だとか、あるいは親不知のピアパークの、この将来の目標像というのはどういふものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

高野能生事務所長。〔能生事務所長 高野一夫君登壇〕

○能生事務所長（高野一夫君）

お答えいたします。

マリンドリームもそうなんですけど、ほかのところもそうだと思いますけども、やはりお客様のニーズというのは、常に変化するものだと思っております。

また、周辺環境、そういったものに合わせて、適正な誘客となるような事業を展開するのが必要だというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

人が集まる場所だと思っておりますので、ぜひ盛り上げていってもらいたいと、そのように思っております。

それでは次に、農業を取り巻く環境についてであります。

1番目に関してなんですけれども、やはり水と空気と温度差というものが相まって、おいしい米ができてるんだろうというふうに思っております。

先月30日に、糸魚川産米のブランド化の生産者大会がありましたけれども、良質米で表彰された方というのは、上早川、下早川、能生谷、根知の地区の方でありましたけれども、10人中9の方が、早川地域の方だったことから、かなりこの早川というところは適した地域だというふうに思っております。

それで、(2)番になるんですけども、この先月の19日なんですけども、今井地区で、農業者の省力化に向けた研修会ってのがありまして、実際、ドローンを使って、上空から初冬の直播というものをやったんですけども、鉄粉というものをつけたお米、もみなんですけども、それがうまく田んぼにうまく植わってるというのが分かったんですけども、もう一つ鉄粉でないほうの軽いほうのお米っていうんでしょうかね、そちらをまいたんですけども、それがうまく、軽かったんかちょっと分かりませんが、植わってないような状態で、それでドローン自体の状態もよくなかったということで、思うように動かないで、一応4時まで、午後、16時までに終わるはずだったんで

すけども、結局それでは終わらなくて、結局その日は、もうタイムオーバーということで、その後どうなったのかってのが分かんなくて、このスマート農業というんですか、こういった、本当に低コストでできるものなのか、そこら辺はどうなんでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

スマート農業といいますと、やはり最先端技術を用いた農業、機械を用いた農業ということになりますので、やはり購入コスト等はかかってまいります。それで、生産コストにつきましても、やはり大規模な農業、やはり個々の農業というよりも集落営農ですとか法人化、そしてやはり規模というのはやはり大きく影響してくると思います。これから、また機械の改善等、またスマート農業の補助ということも来年度以降、農林水産省でも考えておりますので変動してくると思いますが、今のところ、やはり農業規模によって大きくコストの縮減というのは変わってくるというふうには捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

すいません、時間もだんだんなくなってきたので、3番目のほうに行かせていただきたいと思えます。

昨年9月の22日に武蔵小山のある商店街へ、私、行ってきたんですけども、そのときに糸魚川市観光物産店というのがあって、どういったつながりであるかと取引ができるようになったのか、ちょっと教えていただきたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

市内業者が、武蔵小山の商店街の方たちと取引がありまして、そのつながりで、その商店街のイベントに参加させていただけることになりまして、ここ数年、糸魚川市としまして出店させていただいてるところが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ほかに、例えば食品卸の会社と食を通じた地域活性化に関する連携協定というのも、今後、締結

して取り組んでいくのも必要と考えているんですけども、そういったことは、いかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

やはり様々なイベントをするには、議員おっしゃるように、協定といいますか約束事を取り交わすことも必要だと思っております。やはりそれは双方が、機が熟したときにそのような取組が可能となると思いますので、いましばらく時間のほうをいただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

5番目のほうなんですけども、この農業所得を上げるには、どのようなことが有効かというようなことだったんですけども、非常にコストを下げるとかそういった基盤整備というようなことが市長の答弁であったかと思うんですけども、やはりどうでしょうかね、水稻以外に園芸であるとか、そういったQ&Aみたいな、そういったものを作成して、やはりこの農業というのは、やり方次第でもうかる仕事になればいいなと思っておるんですけども、そういったことはあまり考えてはいないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

園芸作物につきましては、市内でも多くの農家の皆さんが生産しております。県のほう、農協のほうでも、やはり園芸作物の推奨ということでやっております、徐々にではありますが、糸魚川市内におきましても、エダマメの生産量が増える。また、越の丸茄子の生産量が増えるなどしておりますので、今後も園芸作物の推進に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

最後の質問に、3番目であります。

入札が不調だということなんですけども、これ、令和10年供用開始とありますけれども、逆算して、いつまでがタイムリミットになるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

これまでの解体に関わる工期ということでは、議会のほうに約16か月かかるということでお示しさせていただいております。そういったところでいきますと、来年、令和7年の1月もしくは2月上旬ぐらいまでに業者のほうが決まれば、スケジュールの範囲内に収まっていくというふうには、今考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

これはやっぱりあれなんではないでしょうか、円安が続いて、資材費とか、あるいは人件費が高騰しているということなんではないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

入札の不調の原因については、様々な理由は考えられると思いますが、これであるといったところで明確にお答えできるものはないというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

昨日の東野議員の答弁の中で、入札不落の場合、例外的に行われる不落随契というものがあるというふうに聞いたんですけども、再度、説明していただきたいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

不落随契についてということでございます。

通常、入札につきましては、入札を1回やる。それで落札者がいなかったときには、僅少な、僅かな差であれば、2回目の入札を実施いたします。そこでも落札者がいなかった。けれども、さらにその差が縮まっているということであれば、その最低価格をお示しいただいた業者と随意契約の交渉をするというような流れになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

例えば高くても結ぶというような、そういうことになるということなんでしょうか。若干高くても、そういう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

失礼いたしました。あくまでも入札に定めた予定価格よりも低く、それを超えない価格でのものになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

そうすると9,800万円という一応枠があるんですけども、それよりも若干下がってればという事で理解してよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

猪又財政課長。〔財政課長 猪又悦朗君登壇〕

○財政課長（猪又悦朗君）

9,800万円が、予定価格という今の仮定の設定であれば、それよりも、それを超えない範囲、それより下というところで数字を、価格を示していただければ落札ということになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

本当に私は、何回も言うんですけども、出生数が、令和4年が176、令和5年が130人、令和6年の今年、市が届けている届出数だということなんですけど148人ということですので、大変あまり多くない数といいますか、人数ではあるんですけども、そういったことを続けて、進めていって大丈夫なのかというふうに思ってるんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔教育委員会こども課長 室橋淳次君登壇〕

○教育委員会こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

こちらの駅北子育て支援複合施設につきましては、駅北大火からの後の復興ということで、これ

まで長い期間にわたって計画をされてきたというふうに思っております。今このような形で計画を進めておりますので、子供の数は減ってきているという現実もございますけれども、少なくなったからといって何もしていいというわけではないと思っております。やっぱり市内でしっかりと安心して子育てができる環境といったところで進めていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

これはちょっとまたやっても長くなるので、これは、一旦ここでやめます。

次に、米田市長の公約でもある、やはり看護学校ですね、これやっぱり本当に議員といたしますか、4年しかないと思うんですけども。ただ、米田市長の場合は、本当に20年近くやられて、非常にそれなりにといたしますか、やっぱりその公約ってのは重いとは思っておるんですけども、本当に、もしこれが駄目といたしますかね、今のところ困難だというようなことなんですけども。本当に看護学校がもし駄目であれば、ほかに何か、糸魚川に若い人を呼ぶような、そういった施策というのはないものかと思っておるんですけど、そこら辺は、市長いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

本当に私の公約で、看護学校の誘致という形で上げてございました。その辺いろいろ調査する中において、今現在においては非常に厳しい状況であると捉えております。いろいろと、やはり調査したり、踏査したり、いろいろ情報収集をする中で進めてまいったわけでもございまして、例えば最も悪質な状態は分校であったり、訓練校であったりとか、いろいろ何か代わる手だてはないかということも含めて検討しとるわけでもございますが、なかなか非常にハードルが高いものでございまして、私の公約の中には、非常にハードルの高いもの、また、可能の近いものとか、いろいろあるわけでもございまして、決して、全て自分でやれるものを上げたわけでもございまして、取り組んでいきたい部分も上げさせていただきました。

そのようなことで、非常に皆様方には心配や、また、少し不満なところはあろうかと思いますが、任期中の中に何としてもという形で取り組んできたことは間違いございませんので、今の段階でのお答えは、非常に難しいという答えをさせていただきました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

本当に残念ですね、やっぱり米田市長も20年近くやられて、私みたいに1期の人間とはまた違

うもんですからね。ですから、本当にやっぱり頑張っていたきたいなど、私は陰ながら応援はしておるんですけど、そこら辺、やっぱり再度いかがでしょうか。やっぱりもう米田市長しかいないんですよ。お願いしますよ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

ありがとうございます。非常に期待を持っていただくことは、本当に私にとっては非常に光栄に思う次第でございます。

しかし、現実というものをわきまえながら、しっかりとやはり取り組んできたわけでございますし、また、まだまだ、もう4年目の終わりといいながらも、まだございますので、任期中の中で精いっぱい取組を進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

ちょっと残念ですね。もう四十何秒しかないもんですから。

次に、すいません、人口減少と対策についてなんですけども、こちらについていかがなんでしょうか。何か提言しておるんでしょうか。具体的なものはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

6年度の取組といたしまして、新規拡充の検討ですとか、また、そういったところにつきましてはワーキンググループでの意見交換を通じて行って、次年度に向けて予算化に向けて取り組んできたといったところがございます。それ以外に調査研究といったところでは、意識調査といったところで、中学生、高校生の保護者アンケートの実施ですとか、それから女性活躍推進企業の取組研究といったところも行っているところであります。また、消滅可能性自治体から脱却した柏崎市のほうへは、総務文教常任委員会の皆さんと同行させていただいたところであります。それから、先進事例の調査においては、マッチングアプリ事業について調査をさせていただいておりますし、現在、若者未来会議といったところも開催をしてきたところです。

こういった取組をまとめまして、次年度予算に向けて、反映できるものはしてまいりたいというふうに考えておりますし、できないものについても引き続き、検討は続けていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

鳥取市では、何かフルリモートできる都市部の企業と連携して、転職せずに移住できる仕組みを構築したいというような、そういった提言もしておりまして、都市部のU I ターン希望者を募るといようなことをやってるんですが、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

移住の新たな形として、今おっしゃられたようなテレワークで、実際に東京に拠点がありながらも、別のところで生活されるという方もおられますし、実際に住所を持ってこられるという方もいらっしゃいます。そういった場合については、移住支援金という、私どもで設けている補助制度の対象となるという場合もございますので、そういった制度を活用しながら、今議員おっしゃられるように、なかなか一部の企業と提携というところまではいきませんが、PRできるところはして、そういう方々も呼び込んでいきたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

思うだけでは駄目なので、ぜひ行動に移していただきたいと思っております。何とかね、糸魚川から流出する若者がいないようにといたしますか、少なくなるように。

○議長（保坂 悟君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

〔「失礼いたしました」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

ここで、暫時休憩といたします。

再開を1時35分といたします。

〈午後1時27分 休憩〉

〈午後1時35分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。〔6番 田原洋子君登壇〕

○6番（田原洋子君）

こんにちは。田原洋子です。